

希少がん

「希少(きしょう)がん」とは、『人口10万人あたり6例未満の「まれ」な「がん」、数が少ないがゆえに診療・受療上の課題が他に比べて大きいがん種』の総称です。200種類近い悪性腫瘍が希少がんに分類されます。

(国立がん研究センター 希少がんセンターHPより)

当院では、希少がんの中で以下のものに着目し集計をおこないました。

- ・ NEN(NETやNEC)
- ・ GIST
- ・ 乳房外パジェット病
- ・ 悪性黒色腫
- ・ 中皮腫(胸膜、腹膜)
- ・ 胚細胞腫瘍
- ・ セミノーマ
- ・ 肉腫
- ・ 腹膜癌
- ・ 皮膚がん
- ・ 小腸がん
- ・ 原発不明癌

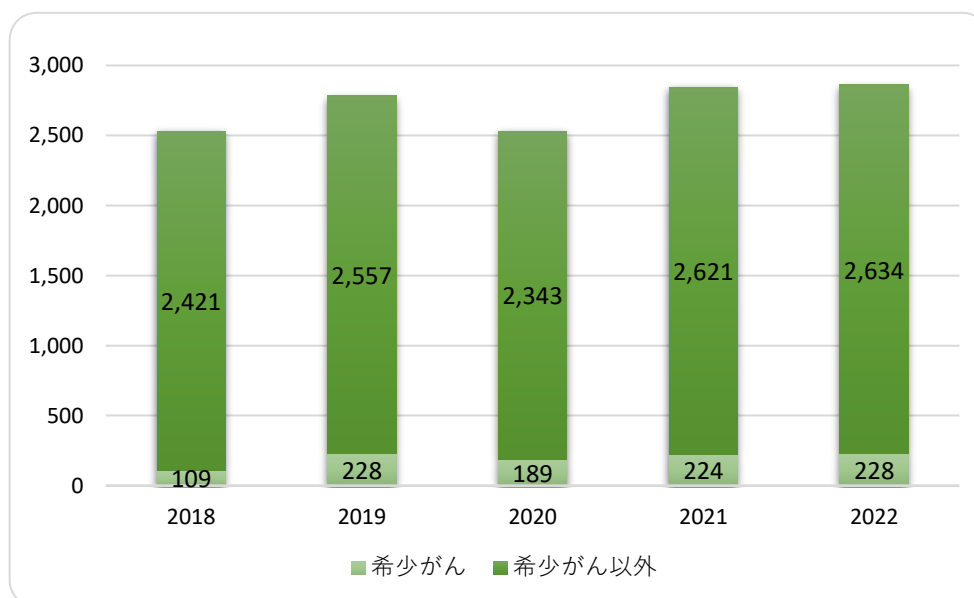
がん登録件数

	2018	2019	2020	2021	2022
件数	2,530	2,785	2,532	2,845	2,862

希少がん件数

	2018	2020	2021	2022
件数	109	189	224	228

全体からみると
希少がんの割合は、 4.3% 8.2% 7.5% 7.9% 8.0%



希少がん

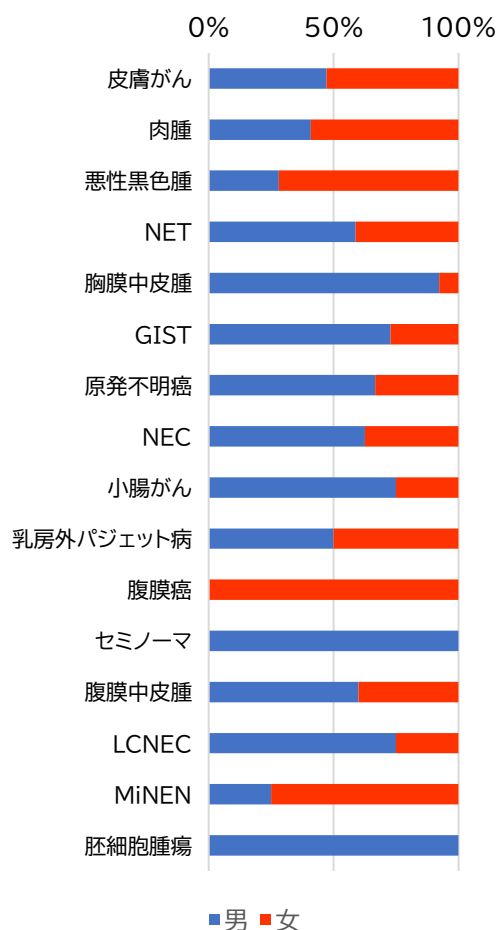
2022年症例

自施設における初回治療状況別

	診断のみ	初回治療開始	初回治療後	※その他	計
皮膚がん	1-4	46	6	0	53
肉腫	0	27	18	1-4	49
悪性黒色腫	0	18	5	1-4	25
NET	1-4	15	1-4	0	17
胸膜中皮腫	0	10	1-4	1-4	13
GIST	0	11	0	0	11
原発不明癌	1-4	8	0	0	9
NEC	0	7	0	1-4	8
小腸がん	0	5	1-4	0	8
腹膜癌	0	8	0	0	8
乳房外パジェット病	0	1-4	1-4	1-4	8
セミノーマ	0	5	0	0	5
腹膜中皮腫	0	1-4	1-4	0	5
LCNEC	0	1-4	1-4	0	1-4
MiNEN	0	1-4	1-4	0	1-4
胚細胞腫瘍	0	1-4	0	0	1-4
	1-4	172	42	11	228

※その他 … ・他施設診断で当院へ治療目的に紹介されたが、治療は行わずに他施設へ紹介になったもの。
・治療の相談で1度きりの受診のもの。

男女比



年齢階級別

